

# 高橋(八学大)巨人1位指名

## 「プロで活躍」意気込み

### ドラフト会議

プロ野球の新人選手選択会議(ドラフト会議)が25日、東京都内のホテルで開かれ、八戸学院大の高橋優貴投手(21)は巨人が1位で指名し、交渉権を得た。八学大の選手がドラフト会議で指名を受けたのは西武に入団した2011年の田代将太郎外野手(現ヤクルト)以来7年ぶりで、八戸大時代を含めて通算9人目。(取材班)

12、13、23日に関連記事

高橋投手は茨城県出身で、東海大菅生高出。八学大1年時から主力選手として活躍した。10月2日に行われた北東北大学野球秋季リーグの岩手大との試合で、通算301奪三振の新記録を打ち立て、同リーグの優秀選手賞に選出された。高橋は八学大で行われた記者会見で、「大学での4年間の頑張りが評価されたことをうれしく

思う。いち早く活躍できるように頑張りたい」と意気込みを披露した。青森県、岩手県北地方関係ではこの他、ホンダの木浪聖也内野手(23) || 青森山田高、亜細亜大出 || が阪神から3位で、BC栃木の内山太嗣捕手(22) || 工大一高、トヨタ自動車東日本出 || がヤクルトの育成1位でそれぞれ指名を受けた。一方、蔡鉦宇内野手(八学光星高 | 拓殖大)、有馬昌宏投手(青森北高 | 東日本国際大)、西館洗希投手(一戸中 | 盛岡三高)の3人もプロ志望届を提出したが、指名されなかった。



巨人から1位指名を受け、ガッツポーズを披露する高橋優貴投手=25日午後6時ごろ、八戸学院大

高橋優貴(たかはし・ゆうき) 1997年2月1日生まれ、茨城県ひたちなか市出身。同市立田彦小3年時から野球を始める。東海大菅生高(東京)3年時の2014年夏の西東京大会は準優勝に終わり、甲子園出場経験はない。八戸学院大では1年春から主力

として活躍。4年までの8季で50試合に登板し、20勝を挙げた。今秋には、現西武の多和田真三郎投手(富士大出)の持つ、リーグ最多奪三振記録299個を塗り替え、301個の新記録を樹立した。身長178センチ、体重82キ。家族構成は両親と弟。